

重点目標実績報告

31年度の重点目標について

◎『安全』

- ・各ご利用者にあった介助方法・支援について都度検討され、処遇に生かされた。また、救急車要請などの急変時対処方法も迅速に行い、医療機関との連携も図れた。
- ・ご利用者のADL低下に伴う身体的負担の増加、暴言・暴力などの精神的負担等、職員がうけるストレスは大きい。一人ひとりの負担が大きくならない様に取り組んでいる。

◎『礼儀たし』

- ・挨拶・身だしなみはしっかりと行えている。言葉遣いについては、ご家族からのご指摘もいただいている。職員同士が気兼ねなく注意しあえる関係性となっていない事も要因と思われる。改めて関係性づくりに取り組む事と一人ひとりが自己の接遇に対して意識をもって仕事に当たる事が必要である。

◎『効率』

- ・自分の勤務時間内に仕事が終わる様取り組んでいる。また、各職種が連携し、スムーズに調整や処遇につなげているが、伝言不足・確認不足もある為もう少し見直しが必要。一人ひとりの取り組みとしては、空いた時間帯の使い方にもう少し工夫が必要だったと感じている職員もあり。

◎『毎日が笑（SHOW）』

- ・ご利用者と職員の会話や交流では笑顔があるが、ご利用者同士の些細なトラブルも多く、ご利用者同士の輪やつながりへの支援がさらに必要である。

【施設サービスの質の向上】

- * 新規施設利用者に関しては、入所前の状況把握に努めるとともに、家族・福祉担当者及びかかりつけ医療機関との連携を図り施設生活にスムーズに移行できるよう努めた。

特に在宅から来られる利用者は、入所前情報に記載のない身体状況や精神状況・隠れた疾病があり入所後に急に身体状況が変わる事や早急な対応が必要となる方もいた。今後入所に関して、より細かい情報収集や関係者からの聞き取り・本人面談を行い、他職種との連携が今以上に必要であると感じた。

また、入所の段階で要介護度1～2の利用者も多く、和室からのスタートにかなり不安がある方も多い状況にある。

- * 継続入所者に関しては、ADL及び認知症等の維持改善に努めるとともに、疾患の状況等に関して日々の経過観察及び主治医連携に努め体調管理を行った。また利用者の意向を出来るだけ尊重しながら笑顔で元気に生活できるよう支援を行った。

- * 虐待等のやむを得ない状況により短期入所される方は、その後長期入所に移行するケースが多いが、在宅へ復帰される利用者もおられた。緊急の利用・行政や包括等とのケース会議等を通じ地域高齢者の身体の安全確保の支援をおこなった。

- * 養護一般利用者については生活支援の向上に繋げられる自立支援計画を作成し支援を行った。
- * 特定施設の利用者に関しては、生活ニーズに基づく施設サービス計画の作成及びサービスの提供を行ない自立支援へのサポートを行った。

【職員の資質向上】

- * 接遇に関して職員会議等を活用し求められる姿勢についての研修を行った。
- * 統一されたケアを行うため、申し送りや各種会議等での職種間の連携を強化し、全員で取り組み、達成させる組織作りに励んだ。申し送り不足等があるため、連携の仕方について検討が必要と思われる。
- * 施設サービスの質を向上させるために外部研修への参加、施設内研修会等を実施したが、年度末はコロナウイルスの影響にて研修の多くは中止となっている。
- * 関係団体（社会福祉法人清風会、医療法人社団慶城会）との連携に努め、合同の会議や研修会を開催した。
- * 介護支援専門員の資格取得のサポートを行い、1名合格者あり。
（介護福祉士は受験該当者なし）

【入退所調整業務】

- * 1か月平均入所者数：59.9人（月平均入院者：2.1人）31年度はほぼ満床を維持できた。
入院者については、様子・主治医の意向などをこまめに行政へ報告し、スムーズな入退所者の支援を行い、空床が生じないように努めた。入所希望者（入所判定通過者）は要介護度認定の方、精神疾患の方、医療依存の高い方が多く、受け入れに関しても慎重な対応が必要だった。

実践事項

1. 相談援助

- * 家族との連携：◎利用者の生活状態及び健康状態等を定期的に家族へ連絡を実施し
面会機会の少ないご家族へは、繰り返し面会の依頼を行った。
◎年度末はコロナウイルス感染予防にて面会禁止となった為、電話や手紙での状況報告対応を行った。
◎ADL状態の低下や認知症進行及び体調不良等の際には、随時家族へ連絡を行い連携を図るとともに、医療機関入院等が生じた際にも定期的に面会等を行い、利用者の状態把握に努めるとともに主治医や家族との連携を図った。
◎日々の施設での状態を把握していただくために広報誌の発行を行った。
利用者の抱える状況や家族構成も複雑になっており、家族との連携も困難事例が多く、身元引受人の課題については未解決のケースもある。
- * 相談援助：◎各種行事への家族参加時及び面会時に利用者の状態等を家族へ報告する等
家族との交流を図り、施設への意見や要望が出やすい環境作りに努めた。
◎「なんでも相談日」にて金銭面の相談・施設等への要望・今後の不安など傾聴し、必要に応じて家族や行政など関係機関へつなげた

2, 日常生活介護

◎『個々の状況を把握し、専門性を生かした介護を行う』

入浴 : プライバシーに配慮し、見守りや介護を行い常に安心して入浴が行えるような支援を行った。入所者自身が順番を把握できるようボードで掲示・繰り返し声掛けを行った。介護においては自立を促し、出来ない箇所の支援を心がけた。

入浴時には全身状態の確認を行い皮膚疾患や転倒等痕跡の確認を実施した。

皮膚疾患について、軟膏や保湿剤を定期的に塗布し改善に努めた

入浴日 月・水・金曜日（女性）／ 火・木・土曜日（男性）

* 排泄 : 排泄チェック表の活用・職員間の連携をより充実させ、排泄の声掛け・支援が過不足なく実施し、気持ちの良い排泄につなげた。

いろいろな紙パンツや尿取りパットを試し、ご利用者の状態のあった物を使用した。

排便確認等も行い排便困難者に関しては、水分摂取・歩行や軽運動の促進、緩下剤等にて調整を行うとともに、日頃より十薬茶服用等にて調整を実施した。

個別負担ではあるが、ヤクルトを常用する事で排便状況が改善した利用者もいた

* 更衣 : 時期に合わせ衣類や寝具の衣替えを支援し、日頃の服装に関しても重ね着をしている方に重点的に声を掛け気温に合った装いが出来る様支援した。

衣類の修繕や買い替えなど日ごろより利用者の様子をうかがい、行事の際はおしゃれ着と一緒に選んだり、趣味嗜好にそった衣類を購入する事で利用者とのコミュニケーションの場となった。

* 移動 : 利用者の移動に関しては日常の歩行状況等を確認するとともに、廊下・食堂・浴室等の安全性を十分考慮し下肢筋力低下防止に努めた。また必要時には歩行器や車椅子等を有効的に活用し自立支援に努めた。転倒の防止の観点から履物にも注意し、介護業者等と連携しながら対応に努めた。日中のフリーな時間を利用し、廊下での歩行運動や立位保持訓練など必要に応じて実施した。

3, 日常生活の支援

◎『ご入所者の自尊心を大切にし、安心感を高める』

* 個々の状況を把握し個別のニーズに応じられるような支援を行った。

・ 利用者個々へ傾聴・受容・共感的理解を示し良好な援助関係が築かれるよう努めた。

・ 利用者の意思を尊重するとともに、自由に発言できる環境や自主性が発揮できるような支援を実施しながら、集団生活がスムーズに送れる様に周りの利用者との調整も行った。

・ 利用者個々の日常生活動作等を把握し、適切な介助方法（支援）で利用者の能力の維持・向上を図った。

・ 居室の清掃確認等を定期的の実施し衛生を保てるように支援した。

個々の要望を伺い、買い物の代行をおこなった。

4, 介護予防

- * 体操やクラブ活動、レクリエーション等を通じ運動機能や口腔機能の向上及び認知症の予防・進行防止に努めた。
 - ・ 朝のラジオ体操及び合唱 月曜日～金曜日 全体朝礼時
 - ・ 介護予防体操 火・木・土曜日 おやつの後
 - ・ 口腔体操 毎日 昼食前
 - ・ 各種クラブ活動 舞踊・音楽療法・カラオケ・園芸・工作
 - ・ 機能回復訓練 月1回
 - ・ 歩行訓練及び生活リハビリ 随時
 - ・ 脳トレ（プリント） 不定期
 - ・ ナビウエーブ 不定期
 - ・ 自転車ペダル漕ぎ 不定期

5, 健康管理

- * 利用者の健康状態を把握し、疾病の早期発見・早期治療に努めた。
 - ・ 健康診断実施（5月・11月）
 - ・ 瀧井病院・治田歯科・やまうち泌尿器科 定期往診
- * 医師・薬剤師の指導のもと適切な服薬・配薬管理を行った。
 - ・ 受診結果や処方内容について、適切な申し送りをした
 - ・ 内服自己管理利用者をモニタリングし、内服忘れを予防・状況に応じて変更。
- * 感染症マニュアルをもとに季節性インフルエンザ・ノロウイルスその他の予防に努めた。
 - ・ インフルエンザ予防接種
 - ・ 肺炎球菌予防接種
 - ・ 食前の手洗いの励行
 - ・ 施設内の消毒施行（ジアッシュの散布を必要に応じ1～2/日・人が多く集まる場所にジアッシュの噴霧器設置）
 - ・ 入浴前検温（利用者）・出勤前検温（職員）の実施

6, 栄養管理

- * 栄養バランスや献立内容・味付けのほか身体的条件に応じた食事形態等を考慮し、季節感のある家庭的な雰囲気です食事を提供した。
- * 食事摂取量の向上を図るため、利用者の食べたい物を伺い献立へ反映した。
 - ・ 栄養指導の実施 過体重・低体重・高血圧・糖尿病など対象者への個別指導
 - ・ 衛生管理の徹底 調理室・倉庫の清掃・消毒の定期実施、害虫駆除、検便
特に気になる点を月間目標として、一人ひとりが清潔に対して意識を高く持つように取りくんだ。
 - ・ 嗜好調査及び個別対応 嗜好調査の実施、個別聞き取り
 - ・ その他 各種研修会への参加、行事食の充実、適時・適温給食の実施

以前より昼食のメニュー紹介を調理員が行っている。ただメニューを伝えるだけでなく、一言付け加えたり、利用者の食べる様子をよりよく観察しながらコミュニケーションをとる場としており、調理員と利用者の距離感も近くなってきている。

7, 事故防止

- * 職員個々の意識及び知識を高めるとともに小さな気付きを職員相互で共有し事故防止に努めた。
 - ・ 事故報告書・ヒヤリハット報告書
 - ・ 事故対策委員会
 - ・ 車いす・杖・歩行器・シルバーカーの定期点検
 - ・ 市町村役場等との連携
- * 事故発生時には家族及び医療機関との連携を取り適切な対応を行った。
- * 職員の業務時間帯・内容と見守りが手薄になる時間帯を検討・調整し、見守りの充実をはかり事故防止につなげた
- * 無断で施設外にでられるご利用者について、あらゆる手段を検討しながら安全の確保に努めている

8, 苦情への対応

- * 苦情受付から解決までの体制整備を図り、利用者や家族等が苦情を申し出やすい環境整備に努めた。
 - ・ 面会時等での家族との定期的面談
 - ・ 自治会及び日常生活の中での利用者からの聞き取り
 - ・ 気付きノートの作成、なんでも相談日に個別に聞き取り
 - ・ 苦情解決委員会の開催 ・ ご家族からの意見を伺う

9, 社会活動の参加と地域交流

- * 施設外活動
 - ・ 地域の催し物への作品展示 日向市七夕祭り
 - ・ ドライブや施設近隣散歩等による地域住民との触れ合い
 - ・ 農業小学校との交流
- * 地域との交流
 - ・ 平岩学園・財光寺中学校・比良保育園等の慰問受け入れ
 - ・ 誕生会等でのボランティア受入
 - ・ 五十猛神社祭りでの地域住民との交流
 - ・ 日向市民生委員より視察依頼。養護老人ホームの仕組み・現状について説明。

※年度末はコロナウイルス感染予防により、中止となる地域行事や交流が多かった。

10, 環境美化・防災対策

- * 環境整備に関しては常に清潔を保ち利用者が快適で安全に生活が送れるよう維持管理に努めた。
 - ・ 環境美化委員会の取り組みにて
 - ・ 日常の清掃・消毒等

- * 防災対策としては日常の防災設備の整備・点検の実施・緊急時の連絡対策の整備を図るとともに、災害時には適切な判断・対応が出来るよう消防計画に基づき防災訓練を毎月実施した。また所轄消防署や地域消防団の協力を得て夜間の総合訓練も実施した。

1 1, 事務管理

- * 資産・備品等の適切な管理と整備
- * 適切な管理による経費削減
- * 環境整備の強化
- * 車輛運行の安全管理
- * 防災対策への強化

1 2, 施設設備等

- * 消防用設備定期点検
- * ベッド（特殊寝台）3台購入
- * 公用車（軽自動車）の購入（交換）
- * 厨房配膳棚交換
- * 自動ドア交換（市役所）
- * 洗濯乾燥機
- * 居室改修（2部屋を和室からフローリングへ）
- * 厨房床一部改修
- * 居室洗面台一部交換
- * 面会室 エアコン交換

《行事・催し物》

平成 31 年 度

月 日	内 容	特 記 事 項
4月2日	花見（矢野産業）	利用者5名
4月3日	期日前投票（宮崎県議選）	利用者12名
4月5日	花見（西城公園）	利用者6名
4月17日	期日前投票（日向市議選）	利用者3名
4月18日	誕生会（焼肉）期日前投票（日向市議選）	利用者10名
5月7日	利用者旅行（日南：飫肥城見学）	利用者13名 職員6名
5月19日	母の日（タオルを全員・カーネーション鉢を談話室）	
5月23日	誕生会（慰問：寿会）	
6月2日	レクリエーション大会	21家族（34名）参加
6月6日	おやつづくり（たこ焼き）	
6月13日	誕生会	
6月16日	父の日（タオル）	
6月18日	衣料品販売	
7月2日	比良保育園慰問（七夕飾り）	利用者5名参加
7月5日	ドライブ（七夕飾り見学）日向市駅前	
7月11日	誕生会（ほほえみ会）	
7月18日	期日前投票（参議院）	
7月19日	期日前投票（参議院）	
7月20日	納涼祭・・・荒天にて中止	
8月1日	盆供養	
8月10日	カラオケ大会	
8月13日～16日	DVD鑑賞	
8月22日	誕生会	
8月29日～30日	平岩小中学校職場体験	
8月29日	喫茶の日（亀の子いちごアイス）	利用者6名参加
9月6日	お船出の湯（日帰り温泉）	
9月10日	比良保育園慰問	
9月12日	敬老祝賀会・9月誕生会	
9月18日	県北養護老人ホームグラウンドゴルフ大会	利用者11名参加
9月19日	彼岸供養	
10月3日	お船出の湯（日帰り温泉）	
10月24日	誕生会（アユ焼き）	
11月2日	厄年ひょっとこ踊り	
11月3日	五十猛神社祭り	
11月5日	お船出の湯（日帰りドライブ）	利用者8名

11月8日	インフルエンザ予防接種	
11月13日	夜間防災訓練	
11月21日	買い物ドライブ（ダイソー）	利用者6名
11月26日	カヤシマ衣料品販売	
12月17日	大掃除	
12月19日	誕生会・クリスマス会	Xmasプレゼント お菓子
12月20・21日	冬至（ゆず湯）	
12月26日	餅つき	
12月31日～3日	DVD鑑賞	
1月7日	初詣（大御神社）	
1月9日	新年お祓い（五十猛神社）	
1月16日	誕生会	
2月3日	豆まき	
2月18日	誕生会（マグロ解体ショー）	Aコープ
2月22日	カラオケ大会	利用者22名参加
3月5日	喫茶の日	
3月26日	誕生会（焼肉）	

《 上記以外 》

・ カラオケクラブ	1回／月	・ 工作クラブ	不定期
・ 舞踊クラブ	1回／月	・ 機能回復訓練	1回／月
・ 音楽療法	1回／月	・ 売店	1回／週
・ 屋外散歩等歩行訓練	随時	・ 屋外園芸活動	不定期
・ 自治会総会	1回／月	・ 体重測定・血圧測定	1回／月

外部研修参加状況

平成 31 年 度

月 日	内 容	参 加 職 員
4月25日	県北ブロック施設長・相談員研修会	寮長・相談員（中田）
5月16日	日向地区社会福祉施設等給食研究会	栄養士・調理員（黒木）
5月28～29日	職場研修企画担当者養成研修	計画作成・支援員（青木）
6月4日	タイムマネジメント研修	支援員（濱砂）
6月5日	タイムマネジメント研修	生活相談員（黒木）
6月5日	外国人雇用基礎セミナー	事務長
6月19日	チーム力を高める研修	支援員（米良）
6月20日	県北ブロック相談員研修	生活相談員（中田）
6月27日	職場研修企画担当者養成研修	支援員（青木）
6月28日	部下のやる気を伸ばすコーチング	支援員（渡部）
7月2日	福祉施設における食の安心安全研修	栄養士
7月11日	県北ブロック看護職員研修	看護職員（筒井）
7月17～19日	九州老人福祉施設職員研修会	支援員（田中）調理員（河野）
7月23～26日	会計事務経営実務セミナー	事務長
7月25日	問題解決能力スキルアップ	支援員（田中）
8月1日	職務を通じて部下を育てる OJT 研修・人材育成	支援員（伊藤）
8月1日～2日	職務を通じて部下を育てる OJT 研修・前期	支援員（根之木）
8月1日	県北ブロック支援員研修	支援員（田中）
8月24日	福祉の仕事就職説明相談会	事務長
8月28日	メンタルヘルス研修（中堅）	支援員（金丸）
8月29日	ミーティングの進め方研修	生活相談員（中田）
8月30日	福祉職員のための医学基礎知識研修	支援員（甲斐）
9月3日	21 世紀委員会実行委員会	事務長
9月5日	県北ブロック施設長・相談員研修	施設長・生活相談員（中田）
9月17日	九州ブロックカントリーミーティング実行委員会	事務長
9月27日	職務を通じて部下を育てる OJT 研修	支援員（根之木）
10月2日	利用者主体研修	支援員（青木）
10月5日	ニュートリション研修	栄養士
10月10日	リスクマネジメント研修（ヘビークレーム）	相談員（黒木）計画作成
10月13日	介護支援専門員 試験	主任支援員
10月16日～17日	キャリアパス対応生涯研修課程中堅	支援員（濱砂）
10月19日	施設ケアマネ研修	計画作成担当者
10月29日～31日	全国老人福祉施設研究会議	支援員（渡部）
10月30日～31日	キャリアパス生涯過程チームリーダー	支援員（伊藤）
10月31日	清風会全体研修	全職員

10月31日	ベップトーク研修	主任支援員
11月7日	県北ブロック事務員研修会	事務長
11月12日～13日	BCP 研修策定研修	主任支援員
11月19日～22日	全国老人福祉施設大会	事務長
11月19日	記録におけるリスクマネジメント研修	支援員（椎葉）
11月20日	認知症高齢者のための食支援研修	栄養士
11月21日	日向地区社会福祉施設等給食研究会	栄養士・調理員（上村）
11月22日	苦情解決セミナー	寮長・生活相談員（中田）
11月25日	九社連老人福祉施設 養護部会セミナー	寮長
11月29日	人材アセスメント研修	生活相談員（中田）
12月3日	生活の場におけるターミナルケア	看護職員（黒木）
12月4日	管理職マネジメント向上研修	主任支援員
12月4日	日向市高齢者施設部会	生活相談員（中田）
12月7日	養護老人ホーム職員研修	支援員（田中・濱砂）
12月11日～12日	九州ブロックカンントリーミーティング	事務長・計画作成担当者
12月11日	高齢者虐待防止研修会	主任支援員
12月20日	宮崎県経営協セミナー	事務長
1月8日	メンタルヘルス研修・チームリーダー	看護職員（筒井）
1月9～10日	ケアマネ実務研修	主任支援員
1月10日	福祉職員のための医学基礎知識研修	支援員（椎葉）
1月16日	チームをまとめる中堅職員メンバーシップ研修	支援員（黒木）
1月23日	日向地区給食研究会	栄養士
1月23日	介護保険制度研修会	計画作成担当者
1月24日	ケアマネ実務研修	主任支援員
1月29日	ケアマネ実務研修	主任支援員
1月30日	21世紀委員会 実行委員会	事務長
2月4日	県老サ協研究大会	事務長・生活相談員・支援員（伊藤）
2月4日～5日	ケアマネ実務研修	主任支援員
2月6日	管理職のための職場のストレスマネジメント研修	支援員（渡部）
2月7日	ケアマネ実務研修	主任支援員
2月9日	県栄養士研修会	栄養士
2月10日	退職者共済制度事務説明会	事務長
2月13日～14日	九社連老協施設長大会	事務長
2月13日	ケアマネ実務研修	主任支援員
2月19日	ケアマネ実務研修	主任支援員
2月20日	県北ブロック合同研修	寮長・中田・川野・上村
2月20日	リームビルディングのためのリーダーシップ研修	支援員（椎葉）

3月の研修の殆どはコロナウイルス感染防止の為、中止となっています

各委員会活動報告

【事故対策委員会】

◎事故報告書・ヒヤリハットについては月１～２回を目安に検討会を実施。早急に対応が必要な件については、早急に検討会を実施した。

(まとめ)

◎利用者全体の下肢力の低下が認められる。車いす・シルバーカー使用の利用者が増えたことで施設内の接触事故等のリスクも増えている為、一斉に移動する時間帯を減らすよう努めている。

◎今年度は無断離設による事故報告が増えている（２名で７回）。所在確認をこまめに行う、施錠時間を早める、ともに活動する、などすぐに対応できる事は行っているが、人的な対応だけでは防ぎきれない部分も多く今後は様々な機器の導入も必要と考える。

◎転倒事故９７件であり、昨年より約２０件増えている。転倒・転落による骨折は圧迫骨折が１名であった。年間５回以上の転倒された方が６名で、この６名で５７件と５０％以上を占めている。下肢力向上のための運動促進や主治医による内服調整などの対応を今現在も行っているが、加齢・ＡＤＬ低下・認知症状の進行等転倒などの要因は多い。

高齢者にとって転倒・骨折がその後を大きく左右する事をより自覚し、リスクマネジメント力の向上はもとより、普段の状況をご家族にご理解頂く努力も必要だと考える。

【事故発生防止のための委員会】

Ｒ１年１２月１６日 入浴時に使用しているパーテーションについて検討

【苦情解決委員会】

苦情受付：１件

職員間の報告が不十分だった事から発生した案件だった。ご利用者には、対応の不備を謝罪し了解を得た。職員間での報連相の徹底を図る必要がある。

◎ご利用者が職員の対応に不満を抱き、ご家族に報告され、その後ご家族よりご指摘を頂いた事案が２件あった。

ご家族からは、苦情として取り扱わないでほしい、親の名前を出さないでほしい、おおごとにはしないでほしいとの希望もあり氏名等は伏せ職員会議等にて、言葉遣いや接遇面について見直しを図ってほしい事、職員間でも気軽に注意ができる関係性を作ってほしい事を周知した。

◎四半期ごとに「なんでも相談日」を設けており、体調面・金銭面・将来について・家族について・施設生活における困り事や不満を伺っている所である。

相談日や自治会において利用者からでた意見は職員会議や企画会議等で検討し、処遇に反映している。

【ご利用者の生活を豊かにする委員会】

H31年 4月 9日

R 1年 7月11日

R 1年10月10日

R 2年 2月25日

～ 今年度の取り組み～

①施設環境の点検・美化・啓発

②レクリエーションや余暇活動

③利用者の声の代弁

《まとめ》

- ① 車いすやベッド等備品の破損状況・報告・対応について、誰でもわかるようにチェックシートを作成し活用した。屋外のクリーンアップ活動や美化活動は利用者と一緒に花を植えたり、掃除をする活動をおこなった。
- ② 脳トレは参加者が少なかった。出前は、長友うどん、ホカホカ弁当、はま寿司、トリトンから出前を取った。ご利用者からは好評の声を頂いた。
- ③ なんでもノートに、あまりご利用者の声は記載されなかった。

【働きやすい職場作りを検討する委員会】

H31年 4月 9日

R 1年 7月11日

R 1年10月10日

R 2年 2月25日

①職場環境の日ごろの改善点等意見交換や改善案の提出

②職員が必要な知識や技術を身に付けるための研修会の提案

③職員の声の代弁

《まとめ》

初めての委員会でどう活動していいか手探りだった。もう少し積極的に活動した方がよかったと思う。

ストレスについての研修会をしてもらった。また、外部研修も希望する内容の物に行かせてもらい、勉強になった。職員からの意見を聞く場として、目安箱を用意し、諸々の要求に対して、施設長・事務長より返答や改善の検討をしてもらった。

【危機管理委員会】

H31年 4月 9日

R 1年 7月11日

R 1年10月10日

R 2年 2月25日

～今年度の取り組み～

震災発生時や非常時に必要なものなどを検討し、ご利用者・職員の安全が確保できる様に必要な物や方法を検討・周知の為、BCPの策定を行う。

《まとめ》

- ・ 現在施設に備蓄としてある物を職員に場所・使用方法について周知した。
- ・ あったらしい物についても検討し、費用面も考慮し優先順位をつけて準備することとした。
- ・ 賞費期限の近くなった非常食は給食として提供し、ローリングストックをしている。いままでは厨房がつくる事が多かったので今回は支援員が作り、実際の手順を確認した。
- ・ 現段階の課題として『少人数でどのように避難させればいいのか』という事がある。自身で避難ができと思われる身体機能の利用者はごくわずかである。また、発災の時間によっては、職員数も限られている。どの職員でも適切な判断が出来るように、BCPをとりまとめ、周知しておくことは重要である。来年度に引き続き、BCPの作成に取り組む必要がある。

【感染症対策委員会】

H31年 4月18日：6月の研修会内容、居室移動の際に埃やカビが目立つ事について

H31年 8月20日：居室施設内の清潔状況の確認について 10月の感染症研修会について

R 2年 1月22日：インフルエンザの状況・ジアッシュ散布について 面会者への対応

R 2年 2月17日：インフルエンザの状況・コロナウイルスについて

◎研修

令和元年6月19日

「免疫力低下の予防について」 職員 11 名 利用者 46 名参加

睡眠や食事をしっかりと摂る事や軽い運動や趣味などで気分転換としてストレスを解消することを心がける。腸には免疫細胞が数多くあり、腸内環境が改善されると免疫細胞の活動も良くなる。高齢者に必要な栄養素について、糖分の摂りすぎによる影響について、水分をこまめに摂取する事の大切さについて研修行った。

令和元年10月10日

「感染症対策の基礎知識」

高齢者施設における感染制御の基本についての研修

手洗いについて ※洗い残しやすい所の確認

インフルエンザの流行について 体調不良時の職員の対応等再確認する

【身体拘束廃止委員会】

H31年 4月18日

R 1年 7月16日

R 1年10月28日

R 2年2月18日

◎ 研修

R1年5月23日 「身体拘束にあたるかどうか、グレーゾーンについて考える」

●グレーゾーンとは、明らかな虐待や身体拘束が目的ではなく、主に利用者の安全を目的としている故に行われている事が多い様である。大事な事は「この行為はいいのか、悪いのか、なぜしないといけないのか…考える事をやめない事」である。

R1年10月24日 「虐待・身体拘束をしない為にどうしたらいいか」

●チェック表を基に、同じような介護や対応をしていないか？似たような場面を見たことはないか？など日常場면을振り返り、検討した。 プライバシーの保護・自尊心を傷つけない事・離設に対するご利用者への声掛けの仕方…そういった事を各自が考え、みんなで分かり合う事でより良いサービスの向上につながる。

●2月は、「顔認証システム」について勉強会をし、利用者の安全とプライバシー保護について検討した

【給食委員会】

毎月実施

◎ 清潔に関する事、業務に関する事など『月間目標』としてより意識を持ち、翌月評価を行った。

内容は今までも取り組んでいた事が多かったが、『目標・評価』とする事でより意識し取り組む事が出来た

◎ 8月はソフトクリーム業者に来てもらった。普段は甘いものを食べない方も笑顔で食べていた。

おやつ作りは手の込んだものより利用者が昔よく作っていた団子・饅頭などが喜ばれる。

たこ焼き作りに初めて取り組んだ。串でうまく丸めるのが難しいようだったが、出来立てのたこ焼きはおいしかった。

◎ 積極的に旬の食材を取り入れ、誕生会では普段はあまり提供できない刺身等の献立をたてた。

◎ 体調や嚥下機能に応じた食事形態を提供し、安全にかつおいしく食べて頂ける様工夫した

◎ 健康診断等で異常値が出ている利用者に対しては医師・看護職員と連携し、補助食品や食事の工夫など、食事面でできる健康対策を実施した。

◎ 毎昼食時にメニュー紹介を行い、食事の様子観察を行いながら利用者の嗜好の把握やコミュニケーションをとる機会となった。

◎ 自治会や嗜好調査で出た意見を参考に新しいメニューの提供も行った。

◎ 調理器具の適切かつ丁寧な取り扱いを行い、事故防止に努めた。

- ◎ 2月にまぐろの解体ショーを食堂で行ってもらい、ご利用者にも楽しんでもらえた。
お寿司や刺身が好きなご利用者もおおく、その場で握ってもらったお寿司や新鮮な刺身に『おいしかった～』とたくさんの言葉を頂いた。

【施設内研修・会議実施状況】

月 日	実 施 内 容	特 記 事 項
4月 5日	ケアカンファレンス（O氏）	
4月 9日	各種委員会（利用者の生活・職場作り・危機管理）	
4月19日	企画会議	
4月23日	ケアカンファレンス（K氏）	
4月25日	職員会議	
4月26日	サービス担当者会議	
5月9日	ケアカンファレンス（A氏・M氏・内服薬・I氏）	
5月10日	事故対策委員会（報告書検討）	
5月23日	企画会議・感染症委員会・身体拘束廃止研修会	
5月30日	職員会議	
5月23日	身体拘束廃止研修	
6月5日	事故対策委員会（報告書検討）	
6月10日	ケアカンファレンス（Y氏・Y氏・S氏・K氏・K氏・S氏）	
6月13日	ケアカンファレンス（K氏）	入所
6月17日	ケアカンファレンス（T氏・N氏・I氏・K氏・K氏・Y氏）	
6月19日	感染症研修	
6月24日	企画会議	
6月25日	職員会議	
7月 8日	事故報告書検討会	
7月11日	各種委員会（利用者の生活・職場作り・危機管理）	
7月15日	ケアカンファレンス（N氏・M氏）・サービス担当者会議	
7月16日	退院後カンファレンス（K氏）	
7月16日	企画会議・苦情解決委員会・身体拘束廃止委員会	
7月18日	職員会議	
7月23日	ケアカンファレンス（N氏・M氏）	通常
7月30日	サービス担当者会議	
8月16日	事故報告書検討会・ケアカンファレンス（T氏）	
8月20日	企画会議	
8月22日	伝達研修	
8月23日	サービス担当者会議	
8月27日	職員会議	

9月 2日	ケアカンファレンス（K氏・S氏）	
9月6日	清風会相談員部会	清風会全体研修他
9月19日	職員会議	
9月27日	サービス担当者会議	
9月30日	入所前カンファレンス（H氏）退院前カンファレンス（K氏）	
10月7日	ケアカンファレンス（H氏）	緊急入所（虐待）
10月7日	ケアカンファレンス（N氏）	入所
10月10日	各種委員会（利用者の生活・職場作り・危機管理）	
10月24日	身体拘束廃止研修	
10月24日	企画会議・	
10月25日	サービス担当者会議	
10月29日	職員会議	
10月31日	清風会職員全体研修「メンタルヘルスについて」	
11月8日	企画会議	
11月13日	職員会議	
11月14日	事故報告書検討会・カンファレンス（短期入所）	
11月15日	サービス担当者会議	
11月19日	ケアカンファレンス（T氏）	入所
11月28日	サービス担当者会議	
12月 2日	ケアカンファレンス（H氏）	
12月19日	事故報告書検討会	
12月21日	企画会議	
12月24日	サービス担当者会議	
12月26日	職員会議	
1月10日	ケアカンファレンス（K氏・K氏）	入所
1月16日	伝達研修	
1月22日	企画会議	
1月23日	事故対策委員会（報告書検討）	
1月27日	サービス担当者会議	
1月28日	職員会議	
1月29日	事故報告書検討会	
2月 6日	サービス担当者会議	
2月18日	顔認証システム研修	
2月25日	企画会議	
2月25日	職員会議	
2月25日	各種委員会（利用者の生活・職場作り・危機管理）	
2月27日	サービス担当者会議	

3月 6日	事故対策委員会（報告書検討）	
3月12日	伝達研修	
3月18日	企画会議	
3月19日	事故報告書検討会	
3月24日	職員会議	
3月26日	事故報告書検討会・サービス担当者会議	

その他の会議

- ◎職員会議 : 1回 / 月
- ◎企画会議 : 1回 / 月
- ◎サービス担当者会議 : 1回 / 月
- ◎自治会総会 : 1回 / 月
- ◎ケアカンファレンス : 随時開催（ミーティング）

【レクリエーション大会実行委員会】

運動会の規模を縮小し、ご家族とご利用者・職員のための参加でレクリエーション大会を開催した。屋内（食堂）開催、ご利用者も自由参加であり、ゲーム内容も簡単なものを検討する等初めての開催だったので手探りの部分が多かったが、21家族・34名の参加を頂き、面会室に様々な写真を展示したり、ご利用者の作品を見て頂く等、例年の運動会とは違いゆっくりとした時間となった。

【納涼祭実行委員会】

台風により中止した

【敬老祝賀会】

さくら座の慰問があり、華やかな踊りで祝賀会が盛大な物となった。例年お膳にお菓子も付けていたが食べきらない利用者も多く、別日に祝菓子は食べて頂いた。

【カラオケ大会】

全員参加の歌合戦から、カラオケを歌いたい人・聞きたい人のみ参加して頂いた。

（8月と2月の2回開催）

以前は優勝者なども決めていたが、歌った方全員に参加賞として雑貨やカップラーメンなど景品と選んでいただいた。カップ焼きそば・カップラーメンは普段あまり食べないので、好評だった。

※年に3回、行事の後に広報誌を発行し、ご家族・関連機関へ発送した。

遠方のご家族や面会の機会が少ない方等へは相談員より情報書を添えて最近の状態や気になる点について報告を行う事で、その後の面会や相談に繋げることが出来た。

また、虐待対応中のご家族で新聞への写真掲載が出来ない方については、写真を同封した。

(5) 地域等との交流状況 (平成31年度)

体験学習・実習・視察等 施設来寮状況

月 日	団 体 名	特 記 事 項
4月22日	清風会 相談員部会	清風会年間研修計画 他
5月20日	諸塚村役場 住民福祉課 1名	入所予定利用者について
6月19日～20日	財光寺中学校2年 2名	職場体験学習
7月18日	日向市民生委員 28名	視察
8月29日～30日	平岩学園7年 1名	職場体験学習
9月6日	清風会 相談員部会	合同研修について
9月19日	日向市役所 保護係 1名	生活保護受給者面談
10月8日	諸塚村役場 課長	入所利用者について
10月28日	延岡市 1名	入所者処遇調査
12月20日	椎葉村	入所者激励
12月23日	特別養護老人ホーム 立縫の里 2名	入所者面談

社会福祉施設に係る指導監査及び実地指導

月 日	内容	主な検査項目	備考
5月22日	内部監査	平成30年度会計及び事業監査	監事2名
11月12日	指導監査	指導監査及び実地指導	県指導監査

慰問・ボランティア・地域交流実績

月 日	団 体 名	特 記 事 項
5月 23日	寿会	誕生会 慰問
7月 2日	比良保育園	七夕飾り付け
7月11日	ほほえみ会	誕生会 慰問
8月29日	亀の子いちご(ソフトクリーム)	喫茶の日
9月10日	比良保育園	敬老祝い 慰問
9月 12日	桜座	敬老会 慰問
11月2日	財光寺農業小学校(芋ほり)	利用者5名参加
11月3日	五十猛神社祭 舞踊隊・仮装隊	比良・松原・切2区・少年野球
11月5日	厄年 ひょっとこ隊	
11月28日	寿会	誕生会 慰問

12月以降のボランティア等の訪問はコロナウイルス感染予防により中止

防災研修会実施状況

平成 31 年 度

日時	火点等	参加者
4 月 30日	面会室より出火(夜勤想定)	利用者 55名 職員 12名
5 月 21日	面会室より出火(夜勤想定)	利用者 50 名 職員 12名
6 月 6日	支援室より出火(夜勤想定)	利用者 54名 職員 14名
7 月 4日	理容室より出火(日勤想定)	利用者 57 名 職員 13 名
8 月 8日	静養室より出火(日勤想定)	利用者 56 名 職員 15 名
9 月 19日	洗濯場より出火(日勤想定)	利用者 53名 職員 12名
10 月 10日	小浴室より出火(夜勤想定)	利用者54名 職員 13名
11 月 13日	給湯室より出火(夜間防災訓練)	利用者 56名 職員23名 日向市消防本部 1名 比良消防団 4名 中村消防 1名 警備員 1名
12 月 5日	警備員室より出火(地震発生後想定)	利用者53名 職員 12名
1 月 14日	面会室より出火(日勤想定)	利用者53名 職員16名
2 月 6日	竹16号室出火(夜勤想定)	利用者 54名 職員14名
3月 19日	厨房より出火(夜勤想定)	利用者54名 職員13名

平成31年度 入退所状況

入 所 者				退 所 者			
入所年月日	性別	年齢	入所前	退所年月日	性別	年齢	退所後
R1. 5. 30	女	92	自宅	H31. 4. 24	女	74	自宅
R1. 7. 1	女	86	有料老人ホーム	R1. 6. 3	男	95	医療機関
R1. 7. 1	男	74	自宅	R1. 6. 19	女	95	特別養護老人ホーム
R1. 10. 1	女	75	自宅	R1. 9. 13	男	91	医療機関
R1. 10. 4	男	71	老人保健施設	R1. 10. 1	女	93	医療機関
R1. 11. 19	男	88	自宅	R1. 11. 5	女	86	医療機関
R1. 12. 23	男	66	医療機関	R1. 12. 5	女	92	死亡
R1. 12. 24	女	94	医療機関	R1. 12. 19	女	83	医療機関
R2. 1. 29	女	91	医療機関	R2. 1. 9	女	86	特別養護老人ホーム

平成31年度 入所者状況

令和2年 3月31日現在

【年齢状況】

	65～69	70～79	80～89	90～99	100～	計	最高年齢	平均年齢
男 性	2	9	8	3	0	22	97歳	81歳
女 性	2	4	18	14	0	38	98歳	86歳
合 計	4	13	26	17	0	60	98歳	84歳

【在所年数状況】

	1年未満	1年～ 5年未満	5年～ 10年未満	10年～ 15年未満	15年以上	計	最高在所日数	在所平均年数
男 性	4	11	4	2	1	22	24年2ヵ月	4年10ヵ月
女 性	5	23	8	1	1	38	15年	3年9ヵ月
合 計	9	34	12	3	2	60	24年2ヵ月	4年2ヵ月

【所管別状況】

	日向市	美郷町	椎葉村	延岡市	門川町	諸塚村	合 計
男 性	16	2	1	1	0	2	22
女 性	35	2	0	0	1	0	38
合 計	51	4	1	1	1	2	60

【要介護認定者の状況】

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
男 性	0	0	3	2	1	0	0	6
女 性	0	0	6	2	4	1	0	13
合 計	0	0	9	4	5	1	0	19

【移動状況】

	自 立	シルバーカー	歩行器	車椅子	杖	介助 (車椅子使用含)	合 計
男 性	15	1	0	1	4	1	22
女 性	13	5	3	2	9	6	38
合 計	28	6	3	3	13	7	60

【排泄状況】

	自 立	声かけ誘導	介助 (見守り含む)	計	尿取りパット 使用	紙パンツ使用 (夜間のみ含)	合 計
男 性	18	0	4	22	0	4	4
女 性	30	1	7	38	10	7	17
合 計	48	1	11	60	10	11	21

【入浴状況】

	自 立	一部介助	全介助	見守り	合 計
男 性	8	9	2	3	22
女 性	7	19	8	4	38
合 計	15	28	10	7	60